



学校だより

〈家庭数〉 第5号
令和2年8月24日発行
品川区立第四日野小学校
校長 島崎 一江
<http://school.cts.ne.jp/hino4/>

日 々 精 進

校長 島崎 一江

例年よりずっと短かった夏休みが終わり、今日、子どもたちの元気な笑顔が学校に戻って来ました。どんな夏休みを送ったのか心配もありましたが、With コロナの生活の中で、それぞれに思い出に残る23日間を過ごせたことを、子どもたちの笑顔から窺い知ることができました。今年は梅雨明けが平年より11日ほど遅く、夏休みと同時に梅雨明けとなりました。シメシメしたうっとうしさから解放されたと思った矢先、猛暑になり、本当に暑い暑い夏休みでした。そして、コロナウィルス感染の情報にもハラハラし危機感をかかえながらの夏休みとなっていました。コロナウィルス感染防止だけでも大変な中、熱中症にも気を付けなければいけない生活は、どのご家庭も大変だったのではないのでしょうか。それに、例年ならこの紙面を使って、5年生の林間学園の話や水泳教室の様子などをお知らせしているのですが、それができないのは悲しい限りです。5年生や水泳を楽しみにしていた子どもたちのように、できなかったことをそれぞれに我慢してくれているということなのですね。その我慢に感謝します。いつものことがあたりまえにできない With コロナです。何はともあれ、今日は、大きな事故に遭ったり、病気をしたりしたという報告もなく、2学期が迎えられたことうれしく思います。

さて、1学期後半の『全校朝会』は時間割変更の都合上、昼（給食後）になりましたが、来年度は元に戻ることを期待して、名前は『昼会』にはせず、そのまま『全校朝会』にしています。全校児童が一堂に会することができないので放送で行っています。まず、6年生のあいさつから始まります。今までは『おはようございます』のあいさつが『こんにちは』に変更です。たったそれだけのあいさつですが、すごく大きな変化を象徴しています。あいさつの後に続く6年生から全校児童に向けた言葉は、今までの伝統を受け、生活目標に即した言葉を言ってくれます。あるとき、『先生方は私たちのために一生懸命頑張ってくださいています。感謝して生活しましょう』と言ってくれた6年生がいました。私たち教職員がどれだけ嬉しかったことでしょうか。目頭が熱くなりました。励まされました。とてもありがたい言葉でした。

全校朝会での校長の話としては、高校生棋士の藤井聡太さんの棋聖戦や王位戦の話や、高校野球の話などをしてきました。春の甲子園での選抜高校野球大会が中止になったけれど、交流試合で各校1戦だけできるようになったから夏休みに、高校生が頑張っている姿を応援してねと声をかけてきました。藤井聡太さんは見事に棋聖になり、8月18日現在、王位戦にも王手をかけています。勝てば二冠達成です。高校野球は、各地区で夏の大会が行われ、甲子園では交流試合が行われました。期待通り、胸を熱くする戦いばかりでした。相撲では元大関で東前頭十七枚目の照ノ富士が大相撲七月場所優勝を決めました。初優勝から膝のけがなどで番付を下げ、序二段から幕内に復帰しての優勝は史上初めてだそうです。どれも頑張る姿が私たちに勇気を与えてくれました。

さあ、2学期が始まります。初めてのことだらけの連続で困惑し続け、至らないことばかりの1学期でした。皆様にご迷惑ご心配をおかけしましたこと謹んでお詫び申し上げます。勇気を与えてくれた高校生や力士にならい、日々精進して、これからも頑張っていきます。今後とも温かいご支援ご協力、よろしく願い申し上げます。

◆お知らせとお願い◆

新しい生活様式（よんひのスタイル） 2学期ver

副校長 小山 努

本校の感染予防ガイドラインの判断・根拠の一つである文部科学省発行「学校における新型コロナウイルス感染防止に関する衛生マニュアル 8月6日付改訂版※1」が、TV・新聞でも紹介されました。ここでははじめに、学校が再開された6月1日から7月31日までの児童の感染状況についてのデータ（全国）が紹介されています。まず、小学生の感染経路は、「家庭内感染」が70%（90人中63人）を占めている一方、「学校内感染」は報告されていません。ただし、中学校・高等学校内では11名の生徒、4件の学校内感染が報告されていることから油断はできません。次に小学校の教職員の感染経路は、「不明」が69%（51人中35人）で、中学校・高等学校も合わせて「学校内感染」の事例は報告されていません。そして、これらの事例から「ガイドラインに沿って感染症対策を行った場合は、学校内で感染が広がるリスクを下げるができる」としながら、引き続き「地域や学校に応じた感染症対策を講じながら、授業や各種行事などの教育活動を継続し、子どもの健やかな学びを保証していく」と、総括されています。

このことを受けて、本校では2学期からも基本的な感染症対策を継続・改善をしていきます。そのポイントは、「7月学校だより」でもすでに紹介しました以下の3つです。保護者や地域の皆様のご理解・ご協力を、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

（1）感染源を絶つこと

- ①【重点】発熱等のある児童・教職員本人はもちろん、同居のご家族に発熱等の症状がある場合も登校を控えるようお願いいたします。（出席停止扱い）
- ②【継続】朝、家庭において、児童の検温・カレンダーの記録、健康観察をしてください。
- ③【重点】登校後に発熱等の症状が見られた場合は、保護者の方に引き取りと自宅での療養、かかりつけの病院への通院および報告をお願いいたします。

（2）感染経路を絶つこと

- ①【重点】手洗い・うがい・水分補給の6つのタイミング時の徹底。原則マスクの着用。
- ②【継続】密閉空間や密集・密接が重複する学習場面。また、大声を出し合う学習活動は回避します。※「マイクロ飛沫感染」や「接触感染」の防止。
- ③【改善】学校施設の清掃・消毒は継続します。そして、通常の清掃活動の中で、児童が自分の机や椅子等は自ら清潔にする活動を取り入れていきます。

（3）抵抗力を高め、笑顔ある生活をする事。

- ①【改善】児童相互に学び合い喜び合える学習活動や外部人材と学び合う活動、校外学習も、個別の感染防止対策を講じながら導入していきます。
- ②【重点】発熱や体調が優れない等の症状がある児童に対しても、自他との差異を認め合える支持的な風土を学校・学級で構築していきます。

※1 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル【文部科学省URL】

https://www.mext.go.jp/content/20200806-mxt_kouhou01-000004520_3.pdf

https://www.mext.go.jp/content/20200806-mxt_kouhou01-000004520_4.pdf

◆生活指導部より◆

《9月の生活目標》

き まも せいかつ
決まりを守って生活します

いよいよ2学期が始まります。まだまだ暑いですが感染症や熱中症防止対策を行いながら「新しい生活様式」を継続・改善していきます。

その上で、今月はこれらのこと以外に「学習や生活の決まり」に目を向けて生活してほしいと。「話の聞き方」や「言葉遣い」などの対人面、「チャイム着席」「授業前の学習準備」などの行動面に焦点を当てて、子どもたちが取り組めるように指導してまいります。

例えば、手洗いやうがい、水分補給などに時間を確保するこの時期だからこそ、チャイムが鳴った後、どのくらい時間が自分には必要なかを考えながら行動をするいい機会と考えています。

その他にもいろいろな決まりが集団生活をするうえでありますが、「なぜその決まりがあるのか」を考え、規範意識の向上を目指して取り組んでいきます。

◆保健室より◆

例年より少し早く2学期が始まりました。夏休みの間は健康に過ごせたでしょうか。暑い日もまだ続きます。次のことを守って感染症と熱中症を予防しましょう。

① バランスの良い食事

一日3食好き嫌いせず食べましょう。汗をかくことでビタミンやミネラルが失われやすいので、特に野菜や果物を意識してとりましょう。

② 適度な運動

ワンミニッツエクササイズなど、家でできる運動を親子でやってみましょう。また、休みの日などの涼しい時間帯に、人と距離をとりながらウォーキングやランニングを30分程度行うこともおすすめです。

③ 休養・睡眠

1～3年生は9時、4～6年生は10時までに寝るようにしましょう。十分な睡眠は、免疫力アップや熱中症予防に加えて成績アップにもつながります。寝る時間を大切にしましょう。

この3つを特に意識して、元気に2学期を過ごしましょう。夏休みが明けてつらく感じたり困ったりしたことがありましたらいつでも保健室へご相談ください。

<尿検査について>

8月27日(木)に尿検査第一次検査を行います。27日(木)朝尿の提出を忘れずお願いします。